

宇宙生命哲学

ことのはじめ

52

北里環境科学センター
名誉顧問/宇宙生命哲学者

伊藤 俊洋

ノーベル賞と宇宙船地球号

12月10日はA・ノーベルの命日で、10日のノーベル賞授賞式を挟んで6日から12日のノーベルウィークには、講演会やコンサートなどの祝賀行事が行われる。COVID-19の世界的な流行が新しい局面を迎え、ロシア・ウクライナ情勢は予断を許さないが、2022年の受賞講演はオンラインで世界中に配信され、授賞式には、対面での行事が見送られた20年、21年の受賞者も招待されるという。

ここで、今年のノーベル賞をサッと紹介しよう。

生理学・医学賞は、「絶滅した人類(ネアンデルタール人など)の遺伝情報を解析する技術を確立し、人類の進化に関する研究」で、S・ペーボ博士が受賞した。ペーボ博士の父親は、1982年に同じノーベル生理学・医学賞を受賞している。親子受賞は歴代7組目である。進化学の分野でのノーベル賞は難しいというシンクスは、今回の受賞で消滅した。

物理学賞は、物質を構成する原子や電子の振る舞いについて説明する理論、「量子力学」の分野で、「量子

もつれ」という特殊な現象が起きることを理論や実験を通して示し、量子情報科学という新しい分野の開拓につながる研究に対し、A・アスペ博士、J・ク



2022年ノーベル賞受賞者(左から)
上段:物理学賞3人、化学賞3人、生理学・医学賞1人
下段:平和賞(1人と2団体)、文学賞1人、経済学賞3人
支 援)による
III. Niklas Elmehed (ノーベル財団の支 援)による
ラウザー 博士、A・ ツァイリ ンガー博 士に与え られた。
化学賞 は、さま ざまな分 子の結合 を効率的 でシンプ

ルに行う「クリックケミストリー」と呼ばれる手法の開発に関わった、C・ベルトツィ博士、M・メルタル博士、B・シャープレス博士(2回目)に与えられた。

文学賞は、みずからの体験をもとにした数多くの自伝的小説を発表してきたフランスの女性作家、A・エルノー氏が選ばれた。愛と性を赤裸々に表現しながら、深い哲学的な考察があり、生きることに対する普遍的な価値を、平易な言葉を使って提言している。

平和賞には、ベラルーシの人権活動家A・ヒャリャツキ氏と、ロシアの人権団体「メモリアル」と、ウク

ライナの人権団体「市民自由センター」が選ばれた。経済学賞には、B・バーナンキ氏、D・ダイヤモンド氏、P・ディビック氏が選ばれた。金融危機が起こる仕組みを解明し、その対処法を示したことが評価された。

これらの業績には、日本のトップの研究者たちも様々な形で貢献しており、得られた成果は人類全体の財産と言えよう。新しい年に向け、平和な宇宙船地球号の実現に繋がることを祈念したい。